

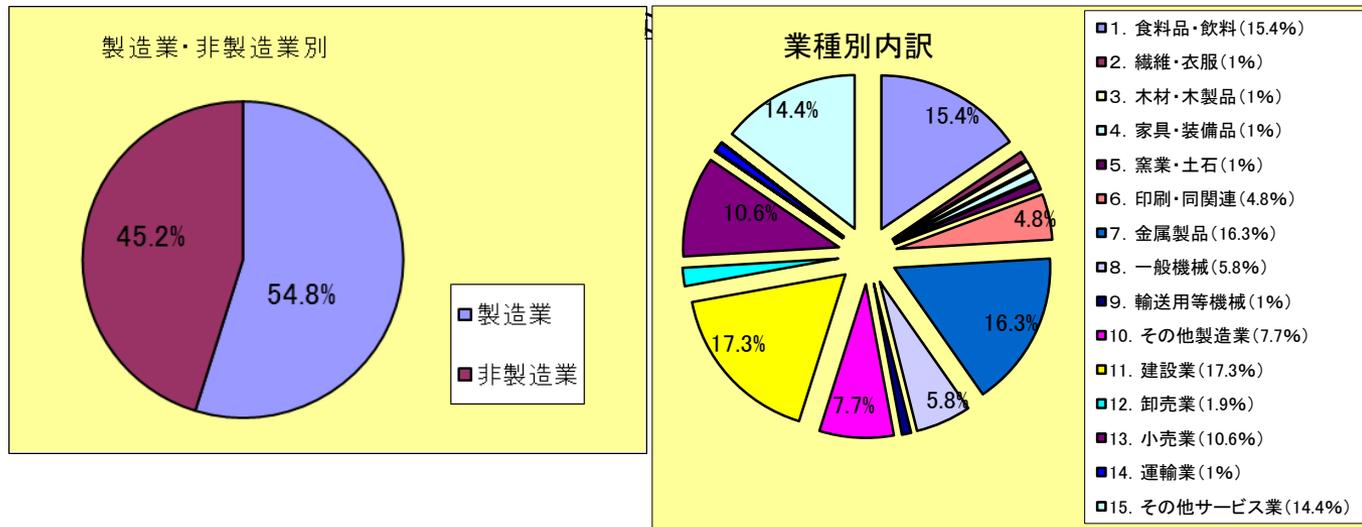
平成25年度
第2回高畠町景況調査結果
(平成25年12月実施)

平成26年3月
高畠町産業経済課



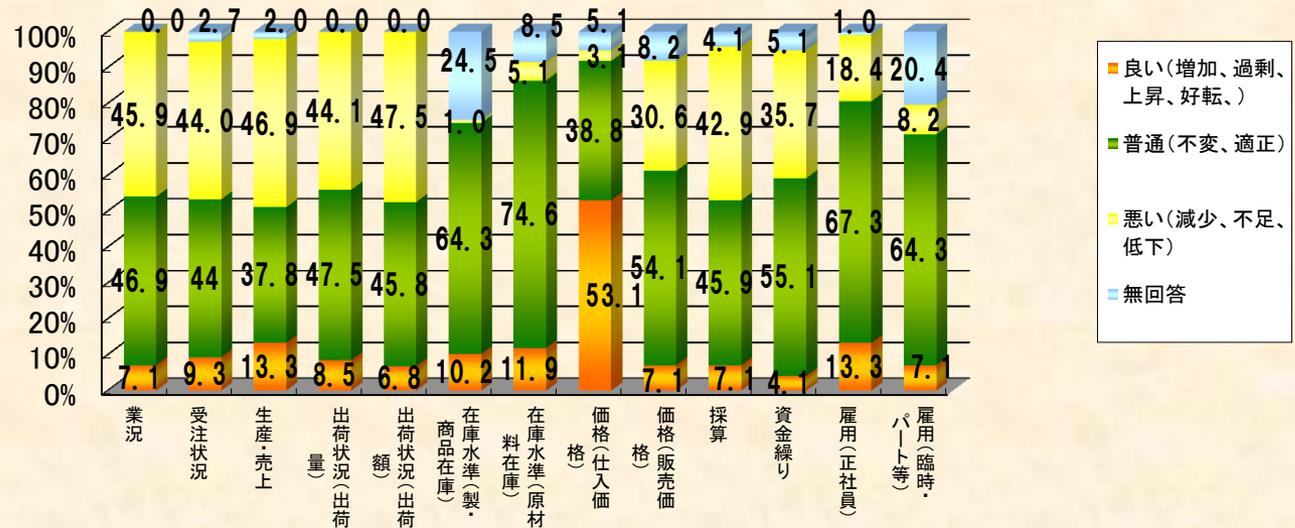
1. 調査概要及び回収結果

1. 調査の目的 町内事業所の現状の景気動向を把握し、地域産業の振興施策を検討する上での基礎資料を得る。特に、新政権による経済政策に対する景気動向と行政、商工会等に希望する支援等を調査する。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計
 - (1) 標本数：町内事業所（個人事業主も含む）167事業所
 - (2) 調査方法：調査票の配布（郵送法）、回収（FAX及び持参）
 - (3) 調査期間：平成25年12月18日～平成26年1月31日
4. 回収結果 104事業所（回収率62.3%）
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.（ディフュージョン・インデックス）」を採用

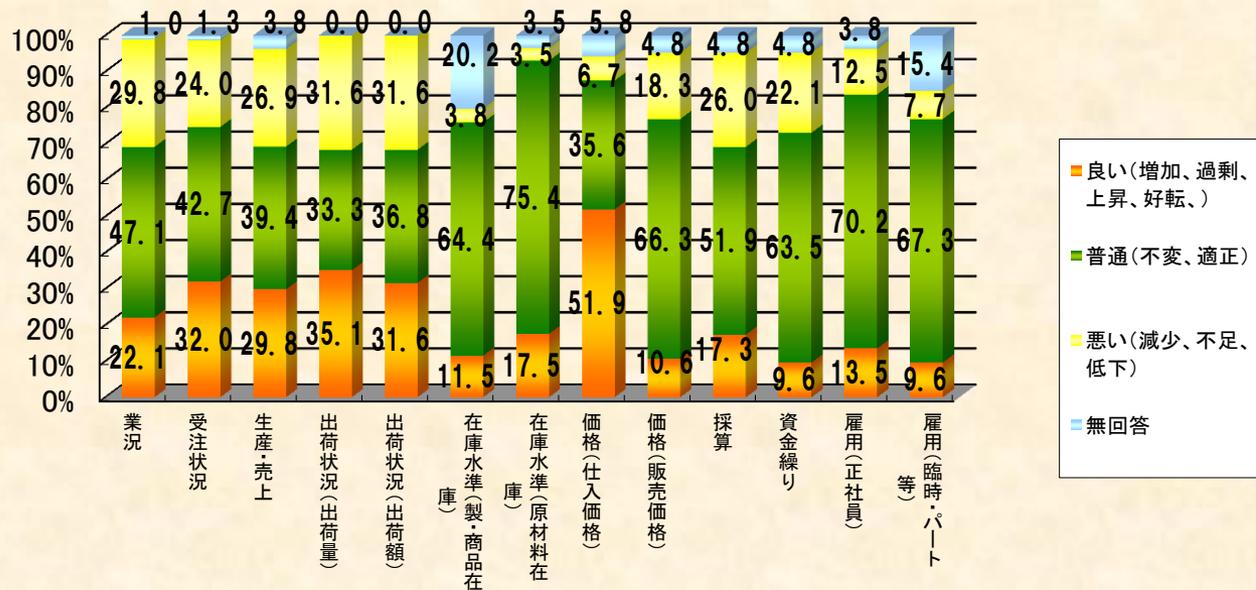


2. 各設問のデータ比較(%)

前期
(平成24年12月
～平成25年5月)



今期
(平成25年6月～
11月)



3. D.I.から見た景気予測

高畠町景況調査(DI)から見た景気情勢(平成25年12月調査)

※DI景気動向指数(「良い割合」-「悪い割合」等)

高畠町産業経済課

No.	調査項目	H21.4~6月期	推移	H21.7~11月期	推移	H21.12~22.5月期	推移	H22.6~22.11月期	推移	H22.12~23.5月期	推移	H23.6~23.11月期	推移	H23.12~24.5月期	推移	H24.6~24.11月期	推移	H24.12~25.5月期	推移	今期 DI H25.6~25.11月 実績見込	推移	来期 DI H25.12~26.5月 期見通し
1	業況	▲70.1	↗	▲51.4	↗	▲42.1	↗	▲41.3	↘	▲52.8	↗	▲12.7	↘	▲20.5	↘	▲30.3	↘	▲38.8	↗	▲7.7	↘	▲20.2
2	受注状況(製造業・建設業)	▲80.3	↗	▲51.0	↗	▲43.1	↗	▲26.1	↗	▲23.6	↗	▲4.4	↘	▲13.8	↘	▲27.1	↘	▲34.7	↗	8.0	↘	▲2.7
3	生産・売上	▲70.1	↗	▲48.6	↗	▲31.9	↗	▲14.3	↘	▲40.3	↗	▲3.2	↘	▲8.2	↘	▲25.0	↘	▲33.7	↗	2.9	↘	▲8.7
4	出荷状況【出荷量】(製造業)	▲70.3	↗	▲47.0	↗	▲33.4	↗	▲10.0	↘	▲24.4	↗	9.4	↘	▲17.5	↘	▲43.9	↗	▲35.6	↗	3.5	↘	0.0
	出荷状況【出荷額】(製造業)	▲67.6	↗	▲50.0	↗	▲33.4	↗	▲10.0	↘	▲29.8	↗	3.1	↘	▲32.5	↘	▲46.3	↗	▲40.7	↗	0.0	↘	▲5.3
5	在庫水準【製・商品在庫】	▲5.2	↗	2.7	↗	2.9	↗	6.3	↗	8.3	↘	3.2	↗	9.6	↘	7.9	↗	9.2	↘	7.7	↘	▲2.9
	在庫水準【原材料在庫】 (製造業)	16.2	↘	11.8	↘	0	↗	10.0	↘	5.4	↗	9.4	↘	2.5	↗	12.2	↘	6.8	↗	14.0	↘	1.8
6	価格【仕入価格】	▲3.9	↗	2.8	↗	18.8	↗	27.0	↗	32.0	↗	34.9	↘	32.9	↗	32.9	↗	50.0	↘	45.2	↗	47.1
	価格【販売価格】	▲51.9	↘	▲52.8	↗	▲40.6	↗	▲30.1	↗	▲26.4	↗	▲17.5	↘	▲20.5	↘	▲21.1	↘	▲23.5	↗	▲7.7	↗	5.8
7	採算	▲70.1	↗	▲55.5	↗	▲39.1	↗	▲27.0	↘	▲54.1	↗	▲25.4	↗	▲24.7	↘	▲27.6	↘	▲35.7	↗	▲8.7	↘	▲11.5
8	資金繰り	▲50.6	↗	▲40.3	↗	▲23.2	↗	▲23.8	↘	▲33.3	↗	▲22.2	↗	▲20.5	↘	▲22.4	↘	▲31.6	↗	▲12.5	↗	▲8.7
9	雇用【正社員】	▲9.1	↗	▲8.4	↘	▲10.3	↗	▲9.6	↗	1.4	↘	▲11.1	↗	12.3	↘	▲2.6	↘	▲5.1	↗	1.0	↗	9.6
	雇用【臨時・パート社員等】	▲15.6	↗	1.4	↘	▲5.8	↗	7.9	↘	▲5.5	↗	0.0	↗	16.4	↘	1.3	↘	▲1.0	↗	1.9	↗	1.9

参考	設備投資 ※「実施」、「実施予定」の事業所割合	平成20年度 実施	推移	平成21年度 実施	推移	平成22年度 実施	推移	平成23年度 実施	推移	平成24年度 実施	推移	平成25年度 実施及び計画	推移	平成26年度 実施予定
		22.1	↗	39.1	↘	27.0	↗	28.9	↘	22.4	↗	28.8	↘	26.9

4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、前期から大幅に持ち直しており、雇用面でも改善の動きがみられる。



(1) 業況D.IIについて、前期(▲38.8)から今期(▲7.7)と31.1ポイントも改善し、受注、生産、出荷状況等がいずれもプラスの値(「良い」と答えた割合が上回る)となった。引き続き、仕入価格は高い値となっているものの、採算、資金繰りは、大幅に改善してきている。

来期については、現在の原材料高に加え、4月からの消費税アップによる景気減速への懸念等から、業況の悪化が見込まれている。

(2) 雇用D.IIについて、正社員(前期▲5.1から今期1.0)、臨時・パート社員等(前期▲1.0から今期1.9)ともに改善し、正社員については、来期の新年度にに向けて更に大幅な改善(来期9.6)が見込まれており、今期の業況が雇用面にも波及した結果と考えられる。

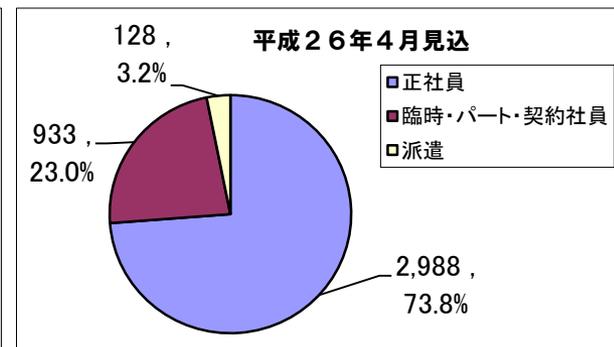
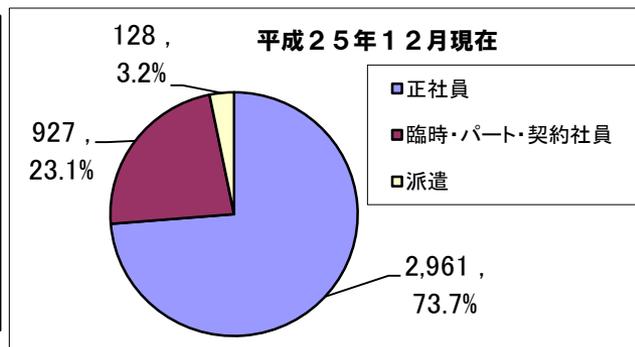
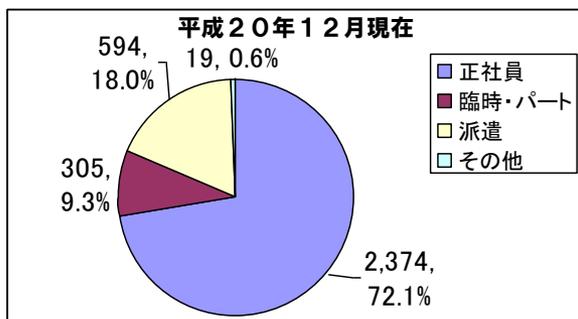
5. 事業所、業界の動向

No.	良い	悪い	その他
1		今夏の大雨で原料の作柄が悪く、高値が見込まれ、市場は安値安定。	
2		先がみえません。急に受注が止まったりします。	
3		円安による輸入原料の値上げがおきているが、製品価格の転嫁ができず、収益が悪化している。業界はまだデフレ状態である。	
4			研究開発企業です。オンリーワン製品装置を医療メーカー様、大学研究所に納入しております。ドイツの大学、米国、国内大学、中国との引き合いが多くなってきています。
5		相変わらず需要減が続き、業界全体が落ち込んでいる。	
6			今期は取引先の業況好転せず、来期はやや好転の見込み。
7			少しずつ動いているようだが、4月以降どうなるか。
8			現状は良好な状況を維持しているが、4月からの消費税アップ迄と思われる。それ以降は、減少の可能性あり。
9	アルコール業界の中では、ワインが増加している。		
10		原発事故の風評被害、大型バスの走行距離の規制等で厳しい状況が続いています。	
11		半導体関係の仕事が未だ先がみえず。	
12		月により受注数の変動があり、長期での生産数が見込めない状況。	
13	新工場竣工いたしました。		
14		半導体業界全体として上昇きていない。	
15			消費税アップがどう影響するかよくみえてこない(悪影響は出ると思うが)。
16	顧客の好況、また消費税増税前の駆け込み需要等で、2015年3月まではある程度の仕事量が見込めます。		
17		来期の状況はわかりません。明日の仕事もわかりませんから。	
18			特になし
19			今期はそこそこの安定収益で終わることができたが、今後原料、資材等の上昇による収益力の低下が懸念される。
20	新商品等により、新規得意先の売上が好調だった。		
21		原材料費のアップによる原価率の上昇に苦しんでいる。	
22		原料高傾向	
23	好調		
24		先行き不透明で、現状維持が精一杯	
25			需要減が大勢であるが、新規開拓でカバーしてきた。更にリピーター増で水準を戻す。
26		薄利営業のため厳しい状況にある。	
27			特になし
28		低迷状態	
29		主に住宅等の基礎工事ですが、材料費(特に生コン代)の高騰で、利益が減少しています。	
30		ご多分にもれず、アベノミクスはまだまだ田舎までは届かず、WEBやNETが拡大して、紙に印刷をしている小社は売上の下落が止まらない中、原紙のみ値上がりしている。	
31			人手不足は今後も続くと思われる。
32		1件あたりの受注金額の低下	
33		先行き不透明	
34		平成25年5月から現在まで、業界全体に仕事が落ち込んできた。	
35		物価高のため、品代の割合が少ない。人口が少なくなり、仕事も大変少なく、何とかしていただきたいと願っております。	
36		部品・材料・電気料金・燃料代の高騰で利益が減少しています。この諸物価の高騰による消費者の節約思考による売上の減少及び高齢化による運転免許証の返納の増大、それによる車両廃棄処分等で保有台数の減少による売上の減少。今年4月からの消費税をはじめ、各種税金の増税等が経営上のマイナス要因が多く、深刻な不安を感じています。 「税高くして民減び、国亡ぶ」	
37		来店者数減少により、店売も減少し、資金繰りが悪化している。	

6. 行政や商工会等への要望事項

No.	要望事項
1	もっと積極的な指導等の行動が必要と思われる。
2	特にありません。
3	資金の利子援助について
4	いつもあたたかいご支援をありがとうございます。
5	社員教育等のセミナーを今後も続けてほしい。
6	人材育成の講師の派遣等、よろしくお願いします。
7	若手の育成
8	何をどうしようとしているかが不明。
9	製造業経営革新事業補助金には、世の状況下大変に期待しております。
10	町での資金の貸し出しをなんとかしてもらえないか。
11	地元の店に注文をよこしてほしい。(注文がありません。)

7. 雇用状況の推移



平成20年12月現在
63事業所3,292人

平成25年12月現在
104事業所4,016人

平成26年4月見込
104事業所4,049人

調査を開始した平成20年12月と比較し、派遣は大幅に減少(14.8ポイント減)してるが、臨時・パート・契約社員は増加(13.8ポイント増)している。
正社員は、割合的には大きな変動はないが、平成26年4月から、19社の事業所で、正規雇用の増員を見込んでいる。